

罪の赦し：「正義」対「憐れみ」？

Copyright©2013 Mormon Outreach Ministries, Sydney

福音主義クリスチャンと末日聖徒イエス・キリスト教会（通称モルモン教）会員は、すべての罪が赦されなければ永遠に天の御父のもとに住むことができない点で意見が一致します。神は聖なる方ですから罪と清さは相容れません（ハバク書 1:13、イザヤ 59:1）。モルモン教の正典の一つの『高価な真珠』内のモーセ書 6:57 は次のように述べています。「それゆえ、あなたの子供たちに次のことを教えなさい。すなわち、どこにいる人でもすべての人が、悔い改めなければならない。そうしなければ、決して神の王国を受け嗣ぐことはできない。清くない者はそこに住むことができない。すなわち、神の前に住むことができないからである。」悔い改めは、わたしたち（罪びとが神に向かって）しなければならない行為です（マタイの福音書 3:2, 4:17, マルコの福音書 6:12）。モルモン教会も聖書も悔い改めは、可能であれば、罪の償いを含めるべきと教えています。盗品は返品されるか、支払わなければなりません。これは当然正しいでしょうね。しかし、**罪はどのようにして、いつ、赦されるか**という点に関してモルモン教会と聖書は教えを異にします。モルモン教理では、人の行いなしにはキリストの贖罪は、完全な罪の赦しと完全な救いをもたらしません。

モルモン教会指導者の教える赦しと聖書の教えを慎重に比較してみましょう。ここでは、次の三つの問題を取り上げて進めていきたいと思えます。(1) 「罪」の定義。(2) 罪はしたら、いつ赦されるのでしょうか？(3) 正義対 憐れみ。聖書は日本語圏のモルモン教会員が好む日本聖書協会の『口語訳聖書』を使用しています。モルモン教正典の一部である『モルモン書』と『教義と聖約』、末日聖徒イエス・キリスト教会の『信仰箇条』、公式学習教材の『福音の原則』（2009年）、*The Life and Teachings of Jesus & His Apostles* (1979年) と非公式の学習教材であるスペンサー・W・キンボール大管長筆の『赦しの奇跡』（1999年）を用いました。

1. 罪とは何ですか？

モルモン教会は、罪は人間の基本的な性質ではなくて、具体的な行為であって（『福音の原則』107頁、『信仰箇条』1:2¹）、「罪を犯す前に（罪であるとの）罪の認識がなければ罪にならない」と教えています（*The Life and Teachings of Jesus & His Apostles*, p.410）。

対照的に、聖書は罪は基本的には神に対する反逆性で（創世記 3、ローマ人への手紙 1:21-23）、人は「咎ある者として生まれる」（詩篇 51:5）と教えています。人は「先には自分の罪過と罪とによって死んでいた者」（エペソ人への手紙 2:5）で「生れながらの怒りの子」（エペソ 2:1-3）です。聖書は人が意識しているかいないかにかかわらず罪は罪と教えています（詩篇 19:12, 51:5）。罪は悪い行為だけではなく、悪い行為は罪深い思考や欲望から始まります（マルコ 7:21-23）。「心はよろずの物よりも偽るもので、はなはだしく悪に染まっている。」（エレミヤ書 17:9）

2. 罪はしたら、いつ赦されるのでしょうか？

ア) モルモン教会は罪が赦されるためには、然るべき悔い改めをして、その罪を決して繰り返すことなく、完全にすべての戒めに従わなくてはならないと教えています。罪が赦されるためには下記のたどるべき段階があるということです。（『福音の原則』109-112頁）

- ① 罪を認めること。
- ② 罪を悲しむこと。
- ③ 罪を捨てること。
- ④ 罪を告白すること— 重大な罪は然るべき神権役員に告白する。
- ⑤ 罪を償うこと。
- ⑥ 人を赦すこと。
- ⑦ 神の戒めを守ること。

十二使徒評議会ボイド・K・パッカー会長はモルモン教義の贖罪と罪の赦しを莫大な負債を抱え、借金を返済できない人の物語で説明しています。貸し主は借り主の持ち物を残らず取り上げて、借り主は投獄されるべきと正義を要求しました。借り主は支払期限を延ばすか、負債を免除してくれるように、憐れみを請いますが、「憐れみが正義の働きを奪うことはできないのです」と貸し主は正義を要求します。仲介者（キリスト）が介入して、負債の肩代わりの申し出をします。

それから、仲介者は借り主に向かって言いました。『わたしが負債を肩代わりしたら、わたしを貸し主として認めますか。』

『はい、もちろんです。』借り主は泣いて答えました。『あなたはわたしを獄から救い、憐れみを施してくださいました。』

『それでは』と恩人は言いました。『わたしに負債を支払いなさい。条件はわたしが決めます。易しくはありませんが、実行可能な条件です。方法はわたしが用意します。あなたは獄に入る必要はありません。』

こうして貸し主は全額支払いを受けました。公正な扱いを受け、契約も破られずに済んだのです。

一方、借り主は憐れみを受けました。正義の律法も憐れみの律法もともに成就しました。一人の仲介者がいればこそ、正義はその一切の要求を満たし、憐れみも十分に満たされたのです。（『聖徒の道』1977年10月号、487参照）（『福音の原則』63-65頁）

聖書では悔い改めとは、罪を心から悲しみ、罪を放棄して、罪を捨ててキリストに従う生き方をすることを神に真摯に約束をすることです（エズラ 6:8-10、使徒行伝 20:21, 26:20 コリント第二 7:9-10）²。悔い改めとはキリストに関して心を変えることであり、わたしたちの人生の根本的な動機と方向の完全転換です。パウロは「神に対する悔改めと、私たちの主イエスに対する信仰とを、強く勧めてきた」と述べています（使徒 20:2）。パウロは「悔い改めて神に立ち帰り、悔改めにふさわしいわざを行うようにと、説き勧めました」とあります（使徒行伝 26:20、マタイ 3:8 参照）。

しかしながら、聖書は完全な罪の赦しと天の御父のみもとで永遠に住むことは神の賜物であって、私たちの行いによるものではないと教えています(ルカ 7: 47-48, 使徒 3:19, エペソ人への手紙 2:7-8)。また私たちがキリストに立ち返った時、完全な罪の赦しと永遠のいのちをいただくと教えています(マルコ 2:5, コロサイ 2:13-14, エペソ 1:6-7, ヨハネ第一1:9)。十字架上のイエスの死は完璧な赦しをもたらしました。「わたしたちは、御子にあって、神の豊かな恵みのゆえに、その血によるあがない、すなわち、罪過のゆるしを受けたのである。」(エペソ 1:7)

モルモン教会員は時折こう言います。「もし罪の赦しがただでもらえるなら、人は平気で自由を主張して罪を犯すでしょう。」聖書はきっぱりとこの主張を論破します。

使徒 26:20 「悔い改めて神に立ち帰り、悔改めにふさわしいわざを行うようにと、説き勧めました。」

ローマ人への手紙 6:1-2 「では、わたしたちは、なんと言おうか。恵みが増し加わるために、罪にとどまるべきであろうか。断じてそうではない。罪に対して死んだわたしたちが、どうして、なお、その中に生きておられるだろうか。」

エペソ人 への手紙 2:8-10 : 「あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることがないためなのである。わたしたちは神の作品であって、**良い行いをするように**、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、**良い行いをして**日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである。」(強調付加)

テトスへの手紙 2:12 : 「そして、わたしたちを導き、不信心とこの世の情欲とを捨てて、慎み深く、正しく、信心深くこの世で生活し、祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神、わたしたちの救主キリスト・イエスの栄光の出現を待ち望むようにと、教えている。」

イ) モルモン教会は、赦しは罪の完全な悔い改めの過程を終えて、次に「神の戒め」に従うことによって、付与されると教えています(『福音の原則』111頁)³。また罪を繰り返すと、悔い改めの結果得た以前の赦しを失うと教えられています(『福音の原則』231頁、『教義と聖約』82:7)。「罪を犯すものには以前の罪が戻るであろう、と主なるあなた方の神は言う。」(『教義と聖約』82:7)

『福音の原則』(231頁)ではキンボール大管長の『赦しの奇跡』が引用されています。

しかし、キンボール大管長は次のように警告しています。「赦しがもたらされるという約束は豊かに与えられているが、完全に悔い改めをしない人に対する赦しの約束や、そのような意味の言葉は一言もない。…… 罪を犯して赦しを得たとしても、幾度か罪を繰り返してまた赦しを期待できると思ってはならない。わたしはこのことをことさら強調したい。」(『赦しの奇跡』353, 360)すでに赦しを得ていながら罪を繰り返す人は、以前の罪にも責任を負わなければなりません(教義と聖約82:7; エテル2:15 参照)。

これとは対照的に、聖書は神は私たちが神に立ち返る時、罪は赦されると約束されています(ヨハネ第一1:9)。神は全ての罪を十字架で赦して下さい(コロサイ人への手紙 2:13-14)。

ヨハネの手紙第一 1:9 : 「もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。」

コロサイ人への手紙 2:13-14 : 「あなたがたは、先には罪の中にあり、かつ肉の割礼がないままで死んでいた者であるが、神は、あなたがたをキリストと共に生かし、わたしたちのいっさいの罪をゆるして下さった。神は、わたしたちを責めて不利におとし入れる証書を、その規定もろともぬり消し、これを取り除いて、十字架につけてしまわれた。」

第二に、聖書は神は悔い改めできる数に限界を定めてはいないと教えています(ネヘミア記 9:28-31)。聖書ではイエスは弟子たちに模範的な祈りである「主の祈り」(マタイ 6:9-13)を教えられました。それは、次のことが含まれています。

「私たちに負債のある者をゆるしましたように、私たちの負債をもおゆるしください。」(マタイ 6:12) 信仰と悔い改めとは生涯を通し継続すべきものであり、わたしたちは毎日神に罪を告白し、赦しを請うべきです。「罪の赦しのための日々の祈りとは、神を悲しませてしまったわたしたちの罪が壊した父なる神との関係が再び回復するよう、また神がその愛する子供たちを喜び、再び関わりを持ってくださることを求める祈りです」と神学者のウェイン・グルーデム博士は述べています⁴。

ウ). スペンサー・W・キンボール氏は「単に(罪を放棄しようと)試みるのは不十分です」と述べています。「単に罪を放棄しようと試みるのでは、悔い改めは不完全で...試みるのでは弱い...私たちは常にわたしたちができる以上の働きをする必要があります」(『赦しの奇跡』165頁)

これとは対照的に、聖書は神が私達の罪を赦される時、罪を私たちから遠く離されるので、罪を思い出すことさえしなくていいと教えています。

詩篇 103:11-12 : 「天が地よりも高いように、主がおのれを恐れる者に賜わるいつくしみは大きい。東が西から遠いように、主はわれらのとがをわれらから遠ざけられる。」

ミカ書 7:19 : 「再びわれわれをあわれみ、われわれの不義を足で踏みつけられる。あなたはわれわれのもろもろの罪を海の深みに投げ入れ、…」

イザヤ書 43:25 : 「わたしこそ、わたし自身のためにあなたのとがを消す者である。わたしは、あなたの罪を心にとめない。」

ヘブル人への手紙 10:17-18 : 「さらに、『もはや、彼らの罪と彼らの不法とを、思い出すことはしない』と述べている。これらのごとに対するゆるしがある以上、罪のためのささげ物は、もはやあり得ない。」

3. 「正義」対「憐れみ」

モルモン教会員は、バプテズマを受けた時交わした聖約を覚えています。全ての律法と神の戒めを守ると約束しました。赦しを得るための必要条件を満たすことに真剣であればあるほど、必要条件(を満たすこと)がますます不可能になります。モルモン教義では赦しにふさわしいとされる前に悔い改め(全ての罪を捨てること)が要求されます。

「単に(罪を放棄しようと)試みるのは不十分です」とキンボール氏は述べています。福音的クリスチャンはモルモン教会は重い荷物をくくって教会員の肩にのせていると思います。『赦しの奇跡』を読みながら筆者はモルモン教義の赦しの奇跡のコンセプトはどこに見つけられるのかと不思議に思い続けました。しかし、モルモン教徒が教会の指導者を支持

するのであれば、教会の教えに直面し、それに従って生きていかなければなりません。末日聖徒にいくつか質問してみましよう。

- * ヤコブの手紙 4: 17は「人が、なすべき善を知りながら行わなければ、それは彼にとって罪である」と述べていますが、これを含み罪をあなたは永久に捨てましたか？そうでないとしたら、完全に悔い改めていることをどうやって知るのですか？
- * あなたは再び同じ罪を犯さないことが難しいことを悟りましたか？
- * あなたは天の御父と一緒に暮らすことを望むなら、すべての戒めを守ってきたと確信していますか？もしそうでなければ、どうして赦されていることが分かるのですか？

聖書は罪の問題に対するもっと良い解決を提供します。神は罪人であることを認めそして神の前に罪を告白して、赦しを求める人を常に許すことを約束されました（詩篇 32:5 ヨハネ第一 1:9）⁵。

福音主義クリスチャンにとって、キリストの十字架は永遠の命を得るには絶対に重要です。十字架上で神の正義と憐れみは両立します。イエスは神の怒りをなだめの供え物として達成し（ローマ 3:25, ヨハネ第一 2:2）、（神の敵である）わたしたちを神と和解させました（エペソ 2:16）。この世においても永遠にわたっても罪の赦しは「恵みのみ」「信仰のみ」で得られます。赦しは無償の賜物です。これこそ本当の赦しの奇跡です。ただ罪の深さと大きさを知っている人だけが神が提供する完全な赦しを正当に評価することができます。ルカの福音書 7:36-50 で罪が許された罪深い女性の物語を述べています。どのようにして罪が許されたのでしょうか？イエスはただ信仰によって多くの罪が赦されたと宣言しています。「それであなたに言うが、この女は多く愛したから、その多くの罪はゆるされているのである。少しだけゆるされた者は、少しだけしか愛さない。」（47節）イエスは「この女は多く愛した」と言われています。イエスは愛や行動が赦しを得たとは言っていません⁶。この女性の愛はすでに罪が赦されていることを実証しています。そして女に、「あなたの信仰があなたを救ったのです」と述べられました（50節）。

結論：聖書は「律法をことごとく守ったとしても、その一つの点にでも落ち度があれば、全体を犯したことになるからである」と教えています（ヤコブ 2:10）。あなたはあなたの心を知っています。あなたは他の誰よりもあなた自身を知っています。赦しと負債を同時に挙げるべきではありません。負債が支払われるか、赦されるかのいずれかです。キンボール氏は「単に（罪を放棄しようと）試みるのは不十分です」と述べています。律法に従うことによって、神をなだめようとする人々は、神の前に罪を犯しています（ローマ 3:19）。神は十字架の上のキリストの死が、完全な罪の赦しと法的赦しを可能性ばかりか、現実にすると言われました。神はわたしたちの罪を二度と思い出さないと約束されています（イザヤ書 43:5 エレミヤ書 31:34, ヘブル人 10:17-18）。新約聖書では回数や罪の深さにかかわらず、神は情けぶかく私たちを赦してくださいます。あなたは信じられないほど素晴らしい神の約束を疑のでしょうか？もしそうなら、神が嘘つきと言っているのです。

脚注

1. 末日聖徒イエス・キリスト教会の信仰箇条 1: 2 は「わたしたちは、人は自分の罪のゆえに罰せられ、アダムの背きのゆえには罰せられないことを信じる」と述べています。〔強調付加〕
2. Wayne Grudem, *Systematic Theology* (Leicester, IVP, 1994) p.713
3. 「悔い改めが完結するには、主の戒めを守らなければなりません（教義と聖約1: 32 参照）。百分の一を納めない、安息日を聖く過ごさない、知恵の言葉を守らない、教会の指導者を支持しない、主や隣人を愛さないとしたら、完全に悔い改めているとは言えません。祈りを怠り、人に不親切なら悔い改めていないに違いありません。悔い改めると、生活は変わります」（111頁）。
4. Wayne Grudem, p.741
5. Howard Marshall, *The Epistle of John*, NICNT (Grand Rapids, Eerdmans, 1978) p.113
6. Leon Morris, "Luke" in *The Tyndale New Testament Commentaries* (Leicester, IVP, 1992) p.163